

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中学・高校生向けのリーダー育成プログラム
事業主体 (連絡先)	ジョン万次郎20年の会 090-2229-4066 (山口吉孝)
事業区分	③教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	722,360 円 (うち支援金: 541,000 円)

事業内容

1. 著名人の講演会とのジョイント発表会
2. キャリア教育学習会 (4回)
3. 国際感覚学習会 (2回)
4. 世代間交流会 (2回)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①目的を持って生きるリーダーの育成

目的を持って始めることで、「何を学ぶのかの焦点が絞られたり、リーダーとしてメンバーをまとめることができる」と実感しています。

②広い視野で物事を考えることができる国際感覚あるリーダーの育成
短期留学した生徒は、キャリア先進国の同世代の子供たちが「将来何をしたいか、国の歴史に対してどのように考えているか」など、自らの視野が広がる体験と将来の夢や職業選択に影響があった。その留学生の体験を基にしたが国際感覚学習会では、留学した生徒が中心になって学習会をリードしたことはその生徒の自信になったと同時に、参加した他の生徒にも将来を考えるキッカケを与えていた。

③集団の中で自己を表現し他者を尊重し率先して活動するリーダーの育成
大規模講演会での1000人の前でのプレゼンテーションは、大きな自信となった。また世代間交流会では、生徒たちがリーダーとして大人たちの中で、議題に沿ってその場をリードした。自らの考えを主張しながらも、世代を超えた他者の意見も尊重し、学びあうよい機会となった。上記はすべて、日常では得難い今後の人生に糧となる貴重な体験であったと感じる。将来、本会の目標・ねらいとしているリーダーとなり社会で活躍すると信じる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

継続的に学習会を開催することで、事業効果を未来につなげ「リーダーの育成」をしていくことが可能です。活動自体は、家庭と学校では、得難い体験をいくつもしていますので有意義であると感じていますが、さらに多くの生徒が会に参加するような事業内容に見直しする必要があります。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【国際感覚学習会&世代間交流会】

【目標・ねらい】

- ① 目的を持って生きるリーダーの育成
- ② 広い視野で物事を考えることができる国際感覚あるリーダーの育成
- ③ 集団の中で自己表現し他者を尊重し率先して活動するリーダーの育成

※自己評価【 B 】

【理由】

4つの事業内容はそれぞれ予定していた効果は感じるが、会に登録する生徒数は予測を下回った。今回は、大規模講演会に集客し活動のPRをしたことと、短期留学の案内書を市内35の中学高校に配布し呼びかけをしたが、不十分であった。今後は、事業の見直しや学校との連携を更に進めていく。